

報道関係各位

沖縄大交易会実行委員会

(国内最大規模の国際食品商談会)

「第2回沖縄大交易会」開催結果報告について

～日本全国の出展企業 200社と17ヶ国・地域から182社の国内外バイヤーが参加～

沖縄大交易会実行委員会(小祿邦男 実行委員長)より、昨年11月26日(木)、27日(金)の両日沖縄コンベンションセンターで開催した「第2回沖縄大交易会」の開催結果について報告致します。

当日の商談会には、全国から200社(県外142社、県内58社)の出展企業(サプライヤー)と、17の国・地域から182社(海外116社、国内66社)のバイヤーが参加(※1)し、2日間で2,273件の商談(※2)が行われました。2日間の総参加者数は延べ3,780人(前年3,311人)となりました。

商談会の成約率(成約および成約見込み)は、バイヤーアンケート結果では「24.3%」(※3)となり、成約金額(成約および成約見込み)は、バイヤーアンケート結果では「131百万円」となった。

※1 フリー商談会のみ参加のバイヤーも含む

※2 個別商談1,929件+フリー商談344件(バイヤーアンケート結果より)

※3 過去の成約率についてもバイヤーアンケート結果を採用

初日の夕方には、「歓迎レセプション・フードショー(主催:沖縄懇話会・沖縄大交易会実行委員会)」を、宜野湾市のラグナガーデンホテルで開催し、バイヤーや出展企業、各都道府県の関係機関や団体、経済関係者ら762人が参集しました。フードショーでは交易会の出展企業の中から、事前に応募があった65社が提供した食材を使って、ラグナガーデンホテルの松村智明総料理長が開発したオリジナル料理が披露されました。

今年の同時開催イベントは、コンベンションセンターの会議棟において、「ジエトロ食品輸出商談会 in 沖縄(主催:貿易振興機構(ジエトロ)沖縄貿易情報センター)」、「日本のおいしいもの展(主催:(株)沖縄県物産公社・内閣府沖縄総合事務局)」、「福建・沖縄 Week セミナー&商談会(主催:福建省人民政府外事弁公室・福州市人民政府・沖縄県・(公財)沖縄県産業振興公社、後援:中国駐福岡総領事館)」などが開催され、多面的なPRと様々な交流の機会が実現しました。

沖縄大交易会実行委員会は、今後も「沖縄大交易会」の継続的な開催を通じて、沖縄県の目指す21世紀の「万国津梁(交易を通しての世界の架け橋)」の実現に向け、アジアの交易拠点としての沖縄を発信し「オールジャパン(ALL JAPAN)」そして「オールアジア(ALL ASIA)」の交易会として一層発展させて参ります。

《開催結果概要》

1.参加企業・団体数

(1) 総参加サプライヤー 200社

うち個別商談会及びフリー商談会参加 197社

うちフリー商談会限定参加 3社

	件名	個別・フリー 両方	フリー商談会 限定	合計
1	北海道	21	0	21
2	青森県	4	0	4
3	岩手県	1	0	1
4	福島県	3	0	3
5	茨城県	7	0	7
6	栃木県	1	0	1
7	群馬県	3	0	3
8	東京都	1	0	1
9	神奈川県	2	0	2
10	石川県	1	0	1
11	長野県	1	0	1
12	岐阜県	1	0	1
13	静岡県	9	0	9
14	愛知県	4	0	4
15	三重県	20	0	20
16	滋賀県	1	0	1
17	京都府	13	0	13

	件名	個別・フリー 両方	フリー商談会 限定	合計
18	大阪府	5	0	5
19	兵庫県	4	0	4
20	和歌山県	1	0	1
21	島根県	1	0	1
22	岡山県	1	0	1
23	広島県	1	0	1
24	山口県	2	0	2
25	徳島県	3	0	3
26	高知県	3	0	3
27	香川県	5	0	5
28	愛媛県	3	0	3
29	熊本県	6	0	6
30	大分県	4	0	4
31	宮崎県	1	0	1
32	鹿児島県	9	0	9
	県外計	142	0	142
33	沖縄県	55	3	58
	合計	197	3	200

(2) 総参加バイヤー 182社

うち個別商談会及びフリー商談会参加 145社

うちフリー商談会限定参加 37社

	国名	個別・フリー両方	フリー商談会限定	合計
1	中国	11	9	20
2	香港	20	1	21
3	マカオ	2		2
4	マレーシア	6		6
5	シンガポール	24	1	25
6	韓国	2		2
7	タイ	4		4
8	台湾	15		15
9	カンボジア	1		1
10	カナダ	1		1
11	スペイン	1		1
12	イギリス	1		1
13	ペルー	1		1
14	インドネシア	1		1
15	インド	1	1	2
16	ベトナム	1		1
	海外計	92	12	104
17	輸出商社（日本）	12		12
	小計（海外販路バイヤー）	104	12	116
	日本（国内）	35	3	38
	日本（県内）	6	22	28
	小計（国内販路バイヤー）	41	25	66
	総計	145	37	182

2.総参加者数

第2回沖縄大交易会の来場者と関係者を合わせた総参加者数は、3,780人(前回3,311人)と前年より469人多くなった。

①来場者数

		11月26日	11月27日	合計
サプライヤー (個別・フリー商談会)	県外	301	301	602
	県内	156	156	312
	同席者	50	51	101
バイヤー (個別・フリー商談会)	海外	114	114	228
	国内	54	54	108
	同行者	30	30	60
バイヤー(フリー商談会のみ)	海外	5	2	7
	国内	13	9	22
	同行者	7	4	11
ジェトロ食品商談会	バイヤー	8	8	16
	サプライヤー	16	16	32
	同行者	12	12	24
沖縄県物産公社・沖縄総合事務局 (日本のおいしいもの展)	サプライヤー ※出展企業数124社	0	0	0
	バイヤー ※来場したバイヤー165社	4	4	8
福建・沖縄ウィーク	バイヤー	20	0	20
	サプライヤー	92	0	92
	政府関係者	14	0	14
PRブース		90	90	180
視察者		294	266	560
歓迎レセプション	招待者のみ ※全体では762名	190	0	190
来場者合計		1,470	1,117	2,587

②関係者数

		11月26日	11月27日	合計
オープニングセレモニー	登壇者	17	0	17
	随行者	34	0	34
沖縄大交易会実行委員会	沖縄県	30	15	45
	沖縄懇話会	86	15	101
	沖縄県産業公社	21	14	35
	他	51	55	106
ジェトロ	スタッフ	13	13	26
沖縄県物産公社・沖縄総合事務局	スタッフ	17	16	33
福建・沖縄ウィーク	スタッフ	14	0	14
オフィシャル商社	7社	22	22	44
公的機関	6団体	12	12	24
プレス		39	12	51
シンクタンク		3	5	8
商談サポーター		157	157	314
語学スタッフ		57	55	112
運営ボランティア		31	22	53
運営スタッフ		88	88	176
関係者合計		692	501	1,193
総参加者合計(来場者+関係者)		2,162	1,618	3,780

3.商談アンケート結果からみる商談成果

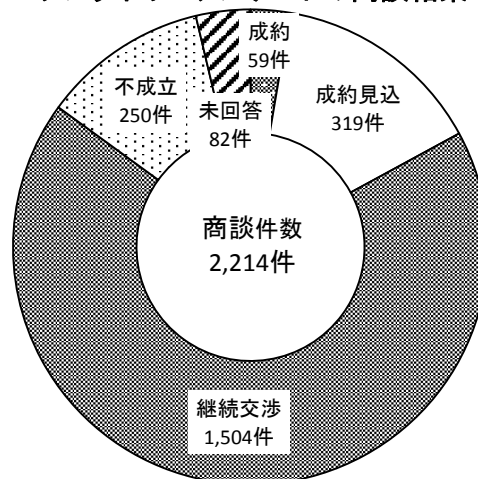
(1) サプライヤーの商談結果および成約・成約見込額

◆商談成果

サプライヤー評価アンケート回収における商談件数は2,214件となっており、「成約」は全体の2.7%(59件)、「成約見込」は14.4%(319件)で、成約および成約見込率は17.1%(378件)となった。

企業ベースでの商談成果をみると、「成約」16.8%、(33社)、「成約見込」40.6%(80社)、「継続交渉」41.6%(82社)、「不成立」0.5%(1社)、「未回答」0.5%(1社)となっている。成約および成約見込み率が57.4%となり、高い実績となった。

サプライヤーアンケートの商談結果



サプライヤーの 商談結果	商談件数ベース		企業ベース	
	件数	割合 (%)	企業数	割合 (%)
成約	59	2.7	33	16.8
成約見込	319	14.4	80	40.6
継続交渉	1,504	67.9	82	41.6
不成立	250	11.3	1	0.5
未回答	82	3.7	1	0.5
合計	2,214	100	197	100

※企業ベースは、「成約」>「成約見込」>「継続交渉」>「不成立」の順に掲載

b) 前年との比較(商談件数ベース)

商談結果	2014年				2015年				増減			
	個別商談	フリー商談	計	割合 (%)	個別商談	フリー商談	計	割合 (%)	個別商談	フリー商談	計	割合 (%)
成約	43	11	54	1.8%	48	11	59	2.7%	5	0	5	0.9%
成約見込	233	102	335	11.1%	272	47	319	14.4%	39	△ 55	△ 16	3.3%
継続交渉	1,038	635	1,673	55.7%	1,278	226	1,504	67.9%	240	△ 409	△ 169	12.3%
不成立	320	555	875	29.1%	222	28	250	11.3%	△ 98	△ 527	△ 625	-17.8%
未回答	68	0	68	2.3%	62	20	82	3.7%	△ 6	20	14	1.4%
合計	1,702	1,303	3,005	100.0%	1,882	332	2,214	100.0%	180	△ 971	△ 791	0.0%
成約+成約見込	276	113	389	12.9%	320	58	378	17.1%	44	△ 55	△ 11	4.1%

前回と同一条件で比較すると、成約及び成約見込み率は4.1%の増となっている。

サプライヤー固定型としたことにより、フリー商談件数は減少したものの、バイヤーが当日気になった商品を優先的に訪れたことや、サプライヤーも様々な商品を準備できたことが要因と考えられる。

◆成約・成約見込額

サプライヤー評価アンケートにおける成約額は4,662万円、成約見込み額が5,962万円、合計は1億624万円であった。前回の成約、成約見込金額と比較すると、成約金額は1,691万円増、成約見込金額は2,066万円増の合計3,757万円の大幅増となった。

		(万円)		
成約または成約見込金額		2014年	2015年	前年比
合計		6,867	10,624	3,757
	成約金額	2,971	4,662	1,691
	成約見込金額	3,896	5,962	2,066

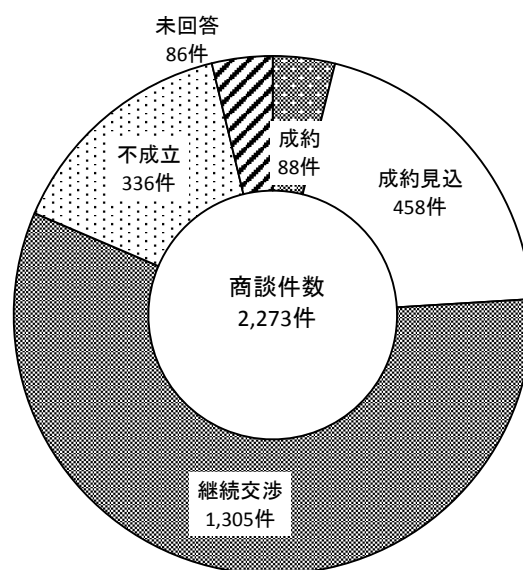
(2) バイヤーの商談結果および成約・成約見込額

◆商談成果

バイヤー評価アンケート回収における商談件数は2,273件となっており、「成約」は全体の3.7% (88件)、「成約見込」は20.6% (458件)で、成約および成約見込率は24.3% (546件)となった。

バイヤー企業ベースでの商談成果をみると、「成約」24.1% (33件)、「成約見込」53.3% (73件)、「継続交渉」22.6% (31件)となり、「不成立」は無かったことからバイヤー視点からも高い実績となった。

バイヤーアンケートの商談結果



バイヤーの 商談結果	商談件数ベース		企業ベース	
	件数	割合 (%)	企業数	割合 (%)
成約	88	3.7	33	24.1
成約見込	458	20.6	73	53.3
継続交渉	1,305	56.9	31	22.6
不成立	336	14.7	0	0.0
未回答	86	4.0	0	0.0
合計	2,273	100.0	137	100.0

※企業ベースは、「成約」>「成約見込」>「継続交渉」>「不成立」の順に掲載
また、企業ベースにはJETRO招聘分は含まない

◆成約・成約見込額

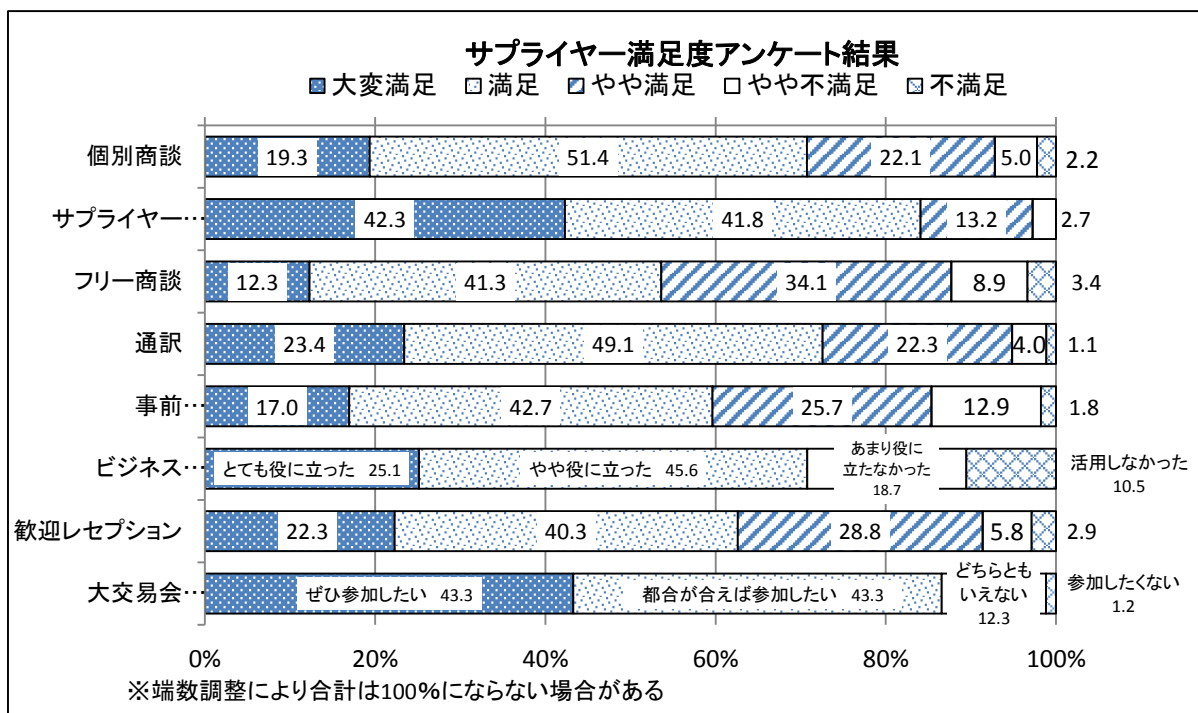
バイヤー評価アンケートにおける成約額は4,130万円、成約見込額が8,989万円となり、合計は1億3,119万円であった。前回と比較すると成約額は1,185万円増となったものの成約見込額は6,111万円減となり、合計でみると4,926万円の減少となった。

成約または成約見込金額		(万円)		
	2014年	2015年	前年比	
合計	18,045	13,119	▲ 4,926	
成約金額	2,945	4,130	▲ 1,185	
成約見込金額	15,100	8,989	▲ 6,111	

※サプライヤーアンケートおよびバイヤーアンケートの結果は差異が生じます。

4.満足度アンケートの結果について

(1) サプライヤー満足度アンケートの集計結果

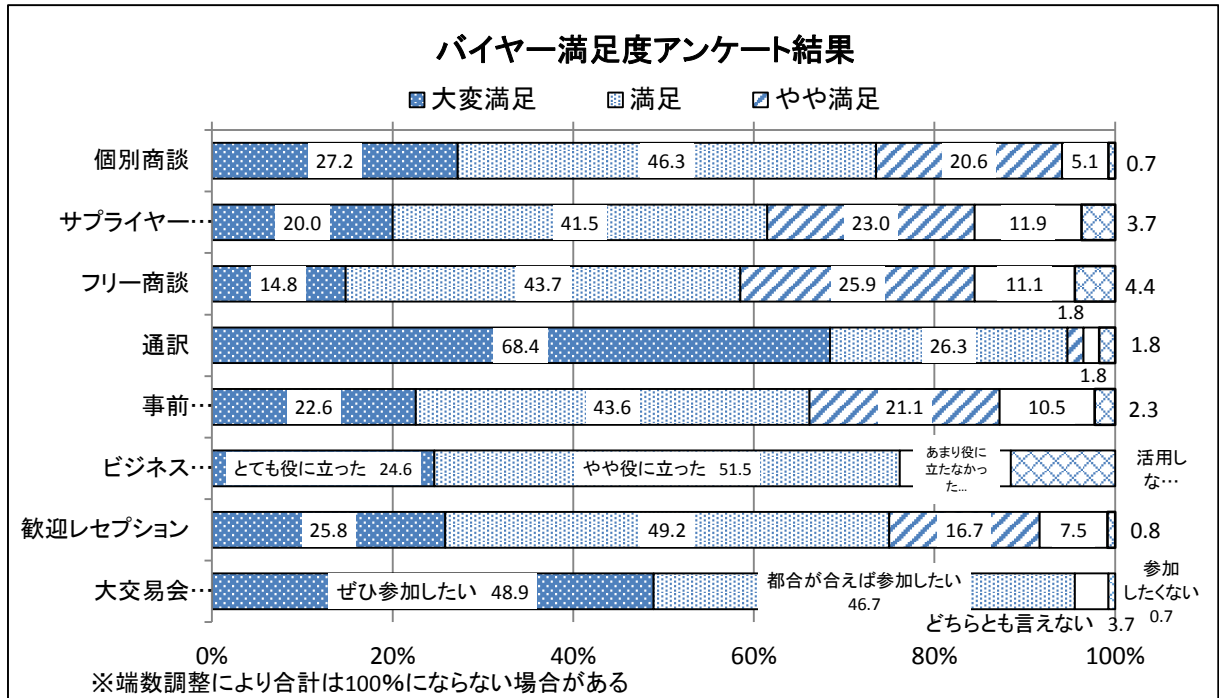


・最も評価の高かった項目は、今年導入した「サプライヤー固定方式」で、「満足（大変満足、満足）」は84.1%（大変満足42.3%、満足41.8%）となり、次いで「通訳」が72.5%（大変満足23.4%、満足49.1%）、「個別商談」が70.7%（大変満足19.3%、満足51.4%）などであった。

・昨年導入をはじめた「ビジネスマッチングサイト」の満足度（とても役に立った、やや役に立った）は70.7%（とても役に立った25.1%、やや役に立った45.6%）となった。

・来年の沖縄大交易会に対する参加意向は、「参加意向（ぜひ参加したい、都合があれば参加したい）」の回答が全体の86.5%、「どちらともいえない」が12.3%、「参加したくない」が1.2%となった。

(2) バイヤー満足度アンケートの集計結果



・最も評価が高かった項目は、「通訳」で、「満足（大変満足、満足）」は 94.7%となった。次いで「歓迎レセプション」が 75.0%、「個別商談」が 73.5%、「事前オペレーション」が 66.2%などであった。

・昨年導入をはじめた「ビジネスマッチングサイト」については、「役に立った（とても役に立った、やや役に立った）」は 76.2%となり、サプライヤーの満足度 70.8%を 5.4%ポイント上回った。

・次回の沖縄大交易会への参加意向は、「ぜひ参加したい」が 48.9%、「都合が合えば参加したい」が 46.7%となった。

5. まとめ

(1) 商談成果について

(サプライヤーとバイヤーの商談結果の比較)

・サプライヤーとバイヤーの商談成果を比較すると、「成約」および「成約見込」の割合はサプライヤー17.1%に対して、バイヤー24.3%とバイヤー側の結果が良かった。企業ベースでも同様にサプライヤー57.4%であるのに対してバイヤー77.4%とバイヤー側が 20% 上回る結果となっている。

・成約および成約見込額について、サプライヤーとバイヤーとの金額差が前回と比較して縮まっていることが分かる。サプライヤーとバイヤーとのコミュニケーションが前回以上に図られている結果だと言えよう。この点においては通訳の質の向上も要因のひとつであり、通訳者に対して事前研修を行った成果と考えられる。

(2) 満足度について

(ビジネスマッチングサイトについて)

・前回より導入が開始されたビジネスマッチングサイトについて、前回は 5 割程度の評価にとどまったものの 2 回目となる今回は 7 割程度の評価が得られた。「サプライヤーからのオファーページがあり、選択時における悩み解消につながった」という声があるなど、前回からの改善が奏功した結果と言える。一方、活用しなかった参加者が 1 割程度いたことから、今後もサイトの利便性向上や利用促進を図っていく。

(サプライヤー固定型について)

・サプライヤー固定型に対する満足度では、サプライヤーでは 8 割、バイヤーでは 6 割程度の評価となった。サプライヤーとバイヤーとの評価に開きがある点は十分に留意する必要がある。開きが生じている要因の 1 つとして、バイヤー側から「商談バイヤーの商品サンプルなどが増え、持ち運びなどの移動が大変であった」という意見が複数みられたことが挙げられる。当該意見への対応策としては、サプライヤーから提供を受けたサンプルの一時的な保管場所が無いことから、保管場所や休憩スペースを設置するなどバイヤー側の負担を緩和させることなども検討していく。

(フリー商談について)

・今回は会場および時間を統一させることでサプライヤーの満足度を高めることができた。しかし、バイヤーの満足度は約 15%悪化しており、「商談希望のサプライヤーと商談できなかった」、「待ち時間が長かった」などの意見が多く聞かれた。「名刺交換会などアプローチする機会でもよかった」などのコメントもあり、次回はこれらの意見に対する改善として、フリー商談時間の拡充を行うことも検討する。

(今後の参加意向について)

・来年の大交易会への参加意向に関しては、8割以上のサプライヤー、9割以上のバイヤーが参加する意思を示しており、今後の沖縄大交易会に対する期待は大きいといえる。今後の期待として、「バイヤーの国籍の幅を中東や欧米などに拡大してほしい」、「サプライヤー・バイヤー数を増やしてほしい」などという意見も多く聞かれた。現状、会場スペースが限られていることから、現在の収容規模で参加企業の満足度を高めるため、実績のあるバイヤーの誘致やサプライヤーの選別を図るなど、今後も更なる質の向上に取り組んでいく。

以上

《次回開催日時》

第3回沖縄大交易会

日 時： 2016年11月21日(月)・22日(火)

会 場： 沖縄コンベンションセンター

主 催： 沖縄大交易会実行委員会

《この件に関するお問い合わせ先》

沖縄大交易会実行委員会事務局 (担当 譜久村・平・森・宮城・安慶名)

〒901-0152 沖縄県那覇市小録 1831-1(沖縄県産業振興公社内)

TEL:098-851-7463 FAX:098-859-6233 E-mail:daikouekikai@okinawa-ric.or.jp